

東峰村での 買い物支援の取り組み

東峰村の買い物における地域課題とは？

県内最小の人口数
1,812人
(令和6年3月末現在)

県内1位の高齢率
47.37%
(令和5年度現在)

高齢化による、
運転免許返納者の増加



村内の小売業者の
相次ぐ休廃業

豪雨災害による、
JR日田彦山線の不通

交通不便のため、
近接する地域への
往来による買い物の
不自由さ

さらに…東峰村の住民へのアンケートでも、
こんな声が届きました！



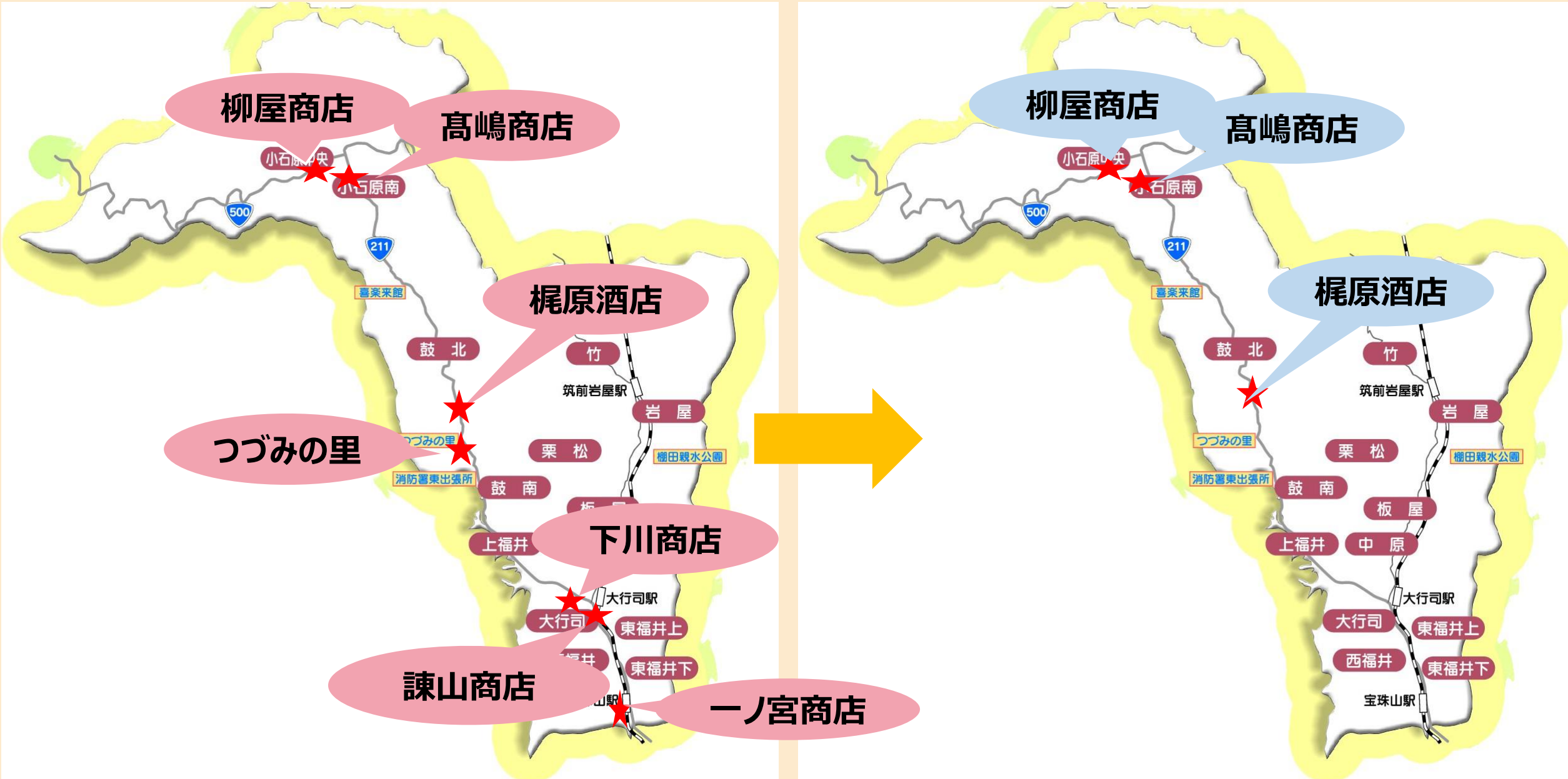
牛乳1本買うのに、
車で30分もかけて
買い物に行かなきゃ…

お店まで送迎してくれる人が
いたらいいのに…

村で買えるものが
少なすぎる…

買ったものを
自宅まで届けてほしい…

課題にあがった、東峰村の実際のお買い物現状とは・・・？



実際に取組みをスタートするまでに・・・



暮らしやすい東峰村をめざして、
地域住民とも意見交換を実施！

ポイント！

東峰村生活支援体制整備協議体のメンバーとも、
何度も協議を重ね、
東峰村に暮らすみなさんにとって、
何があれば便利かを検討しました



1 買い物ツアーの取組み



令和元年度から 生活支援体制整備協議体の活動として 買い物ツアーを開始

- ・行き先 ゆめマートうきは店
- ・実施回数 年5～6回（6月、8月、10月、12月、2月）
- ・利用者 平均15名程度
（65歳以上で自動車普通免許を持っていない方）
- ・利用料金 1回あたり500～600円（運転手謝金として）

ポイント！

- (1) 当初は高齢者外出支援タクシーチケットを活用して、タクシーの乗り合わせ利用（現在は社協マイクロ使用）
- (2) ニーズに合わせて、盆前や正月前に合わせた実施や、日用品需要については、ホームセンターに立ち寄ることも計画中



2 移動スーパーの取組み



令和2年度から村が主体となり
移動スーパーの実証実験を開始
(令和3年10月から本格運用開始)

- ・実施日 平日の4日間（火曜日を除く）
- ・利用者数 1日平均27.2名程度
- ・巡回エリア 1日毎に村内の大字単位を巡回
- ・停車場所 地域・集落の集まりやすい場所
- ・商品点数 約300点の主に食料品
- ・商品供給 サンピットバリュー浮羽店（毎巡回日に納品）

ポイント！

- (1) 集落支援員が同行し、高齢者の見守りも行っている
- (2) サンピットバリュー浮羽店とほぼ同等の価格で販売されている



3 とうほう百貨店の取組み



令和3年3月から つづみの里農産物直売所の一角を活用し、 とうほう百貨店開始

- ・実施日 年末年始を除く、直売所営業日
- ・利用者数 年間延べ4,734名（1日あたり約10名強）の増加
- ・商品点数 常時約800種類の食料品・日用品
- ・商品供給 エフコープ生活協同組合（毎週水曜日の配送）
- ・その他 少ないながら、商品配達や送迎サービスの取組も

ポイント！

- (1) 従来から販売していた農産物や加工品の販売だけでなく、食料品や日用品の品揃えを増やした
- (2) 地域の高齢者のコミュニケーションの場として、週1回の「よりあい喫茶」の運営を開始した



スタート!



～東峰村買い物支援の歩み～

今ココ

9

H29.7

九州北部豪雨災害

H30

住民へのアンケート実施

R1

買い物ツアー開始

R2.10

移動販売 実証実験開始

R3.3

とうほう百貨店オープン

R3.10

移動販売 本格運用開始

R5.7

大雨災害により
とうほう百貨店被災

R6.5

東峰村食品アクセス緊急
対策地域協議会スタート

